

## Ⅱ 子どものための安全・安心のまちづくり

### 1 子どもの交通安全を確保するための活動の推進

交通安全を推進し、子どもを事故から守るためには、誰もが交通ルールを遵守し、マナーの向上を図る必要があります。学校や地域における交通安全教育活動を通じ、特に自転車を利用する上での交通安全意識の啓発を強化します。

#### (1) 学校等における啓発事業の実施

学校等における啓発事業、交通安全教室を通じて、子ども自身の交通安全への意識を高めていきます。また、交通公園等でも交通安全教育を行います。

■三鷹市内の子どもの交通事故発生件数

	発生件数				死者数				負傷者数			
	合計	幼児	小学生	中学生	合計	幼児	小学生	中学生	合計	幼児	小学生	中学生
平成16年	75	11	41	23	0	0	0	0	84	23	41	20
平成17年	66	7	39	20	1	0	1	0	77	18	41	18
平成18年	56	7	34	15	0	0	0	0	61	19	34	8
平成19年	63	7	35	21	0	0	0	0	74	15	41	18
平成20年	46	8	24	14	0	0	0	0	59	20	26	13

■交通安全広報活動

	指導日数	指導人員	広報活動日数
平成16年	164	16472	240
平成17年	167	17435	235
平成18年	145	17577	245
平成19年	154	18025	240
平成20年	162	19373	233

## ■地域安全マップ（第一小学校区）



## 【事業の実施状況と方針】

① 学校等における啓発事業の実施		
事業の概要・実施状況	今後の方針	担当課
<ul style="list-style-type: none"> <li>各小学校において「交通安全教室」や「自転車教室」を毎年実施し、交通安全の意識を高めたり、安全な自転車の乗り方を学んだりしています。</li> <li>各小・中学校で毎月「安全指導日」を設定し、登・下校時の安全や、自転車の乗り方のマナー、交通安全への意識を高める等の指導を行っています。</li> <li>映像資料を使って、安全な自転車の乗り方の意識を高める指導をしています。</li> </ul> <p>市内 15 の小学校区単位に、交通安全対策地区委員会が設置されています(平成 20 年度は、総数約 780 人によって組織されています。)。当会はボランティア団体で、各区の交通安全対策や交通安全教育に関する活動を行っています。</p> <p>このような組織は他の自治体に類例がなく、非常にユニークかつ強力な三鷹市独自の組織であり、通年に渡って地域における交通安全啓発事業の推進に努めています。</p> <p>道路交通課を事務局とする会長会を通じて、連携を密にしながら積極的に活動を支援しています。</p> <p>1 年生歩行訓練、3 年生自転車教室、通学路地域巡回、交通安全運動街頭指導、たよりの発行等、各委員会ごとに独自の事業を展開して交通安全の啓発に取り組んでいます。</p> <p>■課題■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全対策地区委員が固定化(一部では高齢化)しており、現在、小学校に通学している児童を持つ保護者も含めた新たな活動への参加者が望まれる。</li> </ul>	<p>○継続</p> <p>○学校・家庭・地域・関係機関が一体となった取組を充実します。</p> <p>○交通安全対策地区委員会は他の自治体にはない貴重な組織であるため、委員研修会等の機会を活用し相互に連携を密にしながら、積極的に支援していきます。</p>	<p>道路交通課</p>

② 交通安全教室					
事業の概要・実施状況		今後の方針	担当課		
○平成 20 年度 交通安全教室等の実施状況		○継続 ○保護者会や参観の日程を利用するなどして、大人の参加を呼びかけることで、幅広く、交通安全教室への参加を促進していきます。	道路交通課		
	学校等数			実施回数	参加人数
ア 小学生歩行訓練	15			15	2,396
イ 小学生自転車教室	16			16	5,596
ウ 保育園交通安全教室	19			84	3,611
エ 幼稚園交通安全教室	16			44	7,564
合 計	66			159	19,167
上記のアとイについては、小学校、交通安全対策地区委員会、三鷹市、三鷹警察署が連携して実施しています。ウとエについては、施設と三鷹市、三鷹警察署が連携して実施しています。					
■課題■					
・外に出て実際の道路を歩くのはとても効果的だが、子どもたちの引率や交差点などの配置に、人数を確保する必要がある。					
・自転車の正しい乗り方の指導をするためには、子どもが乗るのに適正な自転車が必要である。					

③ 交通公園等における交通安全教育											
事業の概要・実施状況	今後の方針	担当課									
<p>交通公園等による交通安全教育を、通年に渡って実施しています。 平成 20 年度 交通公園等の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th><th>所在地</th><th>利用者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上連雀交通公園</td><td>上連雀 7-8-13</td><td>14,519</td></tr> <tr> <td>中原交通児童遊園</td><td>中 原 4-34-1</td><td>9,772</td></tr> </tbody> </table> <p>交通安全教育の内容            歩行訓練            自転車の安全運転            交通安全教材(16 ミリ、ビデオ)の上映            近隣施設からの要請による交通安全教育の啓発 等</p> <p>■課題■            ・自転車検定の実施            ・施設改善を必要とする。            ・職員配置体制の見直しを必要とする。</p>	施設名	所在地	利用者数	上連雀交通公園	上連雀 7-8-13	14,519	中原交通児童遊園	中 原 4-34-1	9,772	<p>○継続            ○可能な改善を検討し、対応していきます。</p>	<p>道路交通課</p>
施設名	所在地	利用者数									
上連雀交通公園	上連雀 7-8-13	14,519									
中原交通児童遊園	中 原 4-34-1	9,772									

## (2) 自転車安全講習会等の実施

自転車を利用する際のマナーやモラルの問題がよく指摘されていることから、自転車安全講習会を実施し、自転車を利用する上での交通安全意識の啓発を強化します。

### 【事業の実施状況と方針】

① 自転車安全講習会の実施		
事業の概要・実施状況	今後の方針	担当課
<p>市内で起こる交通事故のおよそ半数は、自転車が関係しています。このような自転車事故の減少を図るため、交通ルールの遵守と安全運転マナーの向上を目指して、自転車安全講習会を開催し、受講者には「自転車安全運転証」を交付しています。</p> <p>年間6回開催し、三鷹警察署による講話及びビデオ上映の後、〇×テストを行っています。また、小学校では各学校での自転車教室時に、〇×テストを加える形で講習会を実施しています。</p> <p>その他、市職員、シルバー人材センター、学生寮生等を対象とした講習会を含め、要請に応じて講習会を実施しています。</p> <p>〇20 年度実績            小学生・参加者数：1,333            一般・参加者数：448</p> <p>■課題■            ・自転車安全講習会における受講者の拡大</p>	<p>○充実            ○定期開催の他に、出前講習会により多方面で開催します。</p>	<p>道路交通課</p>

② 幼児 2 人同乗用（3 人乗り）自転車レンタル事業の実施		
事業の概要・実施状況	今後の方針	担当課
<p>道路交通法規則の一部改正により、平成 21 年 7 月から構造上の安全基準を満たす自転車について、幼児 2 人同乗用自転車が認められました。この自転車は、現行のものに比べて高価なことから、前後に子どもを同乗して自転車を利用する期間が限られていることから、普及促進と子育て支援を目的として、月額 1,000 円でレンタル事業を実施しました。貸出対象者には、事前に自転車安全講習会(保育サービス付)を受講することを条件とし、安全な利用を啓発する中で実施しています。平成 21 年 10 月 1 日から利用スタートしました。</p>	<p>○拡充</p>	<p>道路交通課</p>